



高校総体 2016

テニス男子 相生学院2冠

全国高校総体(インターハイ)読売新聞社共催)は8日、岡山市でバドミントン、広島市でアーチェリーが新たに始まり、中国3県の各会場で熱戦が行われた。

県勢は、テニス男子ダブルス決勝で、相生学院の大島立暉、菊地裕太両選手組が、清風(大阪)ペアを下し、頂点に立った。重量挙げでは、105kg級で三木東の坂本洋平選手が2位、94kg級で淡路の福居尚弥選手が4位に入賞した。

1本1本に集中

テニス男子ダブルスで優勝した相生学院の大島立暉選手(3年)と菊地裕太選手(2年)組。清風との近畿対決を制し、団体優勝と合わせ2冠を手にした。接戦となった第1セットを先取り勢に乗ると、第2セットは大島選手が狙い



テニス男子ダブルスで優勝した相生学院の大島立暉選手(奥)と菊地裕太選手(松江市で)

澄ましたストロークを次々に決め、菊地選手もボレーで得点を重ねて快勝した。シングルスとの3冠を目指していた大島選手は「シングルスで負けたショックはあったが、先生や親に恩返しするために1本1本集中し、勝つことができてよかった」とほっとした様子。前日の準決勝で同じ相生学院の3年生ペアを破った菊地選手は、「先輩たちの思いも背負っていたので、とにかく優勝したかった」と振り返った。

◇テニス◇

▽男子ダブルス決勝
大島立暉(相生学院) 7-5
菊地裕太(相生学院) 6-2
今清水村(清風)

◇バドミントン◇

▽男子団体1回戦
神戸村野 3(単1-0 0)
工 複2-0 0 (広島城北)

▽男子団体2回戦
札幌龍谷 3(単1-1 1)
(北海道) 複2-0 0 神戸村野 工

▽女子団体2回戦
園田学園 3(単1-0 0) 玉名女
複2-0 0 (熊本)